



第12号  
 発行・編集 広報委員会  
 〒520-1821 マキノ町沢1410  
 TEL 27-1132  
 令和2年2月吉日

『ごあいさつ』



高島市老人クラブ連合会 会長 鈴木 庄十朗

平素は、高島市老人クラブ連合会の各種事業運営等に格段のご協力とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

会員皆様のお陰で、本年度の事業も計画通り実施させて頂いておりますが、今後とも引き続きよろしくご協力頂きますようお願い申し上げます。

さて、昨年5月に、慣れ親しんで参りました「平成」の時代も終わり、新しく「令和」と云う新時代がスタート致しました。新しい「令和」という時代も「平成」時代と同様に、争いのない平和な社会となりますことを心より願うところでございます。また、時代の変遷とともに大変な岐路に立たされております「老人クラブ連合会」に取りまして、何とか活路が見いだせるよう心から願うところでございます。

ご承知のとおり、今の老人クラブ活動をとり巻く状況は、極めて厳しいものがあり、特に会員数の減少に歯止めがかけられず、長年にわたり伝統的に維持されてきた「老人クラブ連合会」という組織すら存続が危ぶまれると云う、大変憂慮すべき状況に陥っております。

そんな中、会員数の減少するこの流れを変えることこそが、私に課せられた使命であると感じ、昨年度より、事務レベルにより「活性化検討委員会」を立上げ、あらゆる方向から議論をし、また、先進地である「野洲市や長岡京市の老人クラブ連合会」を視察させて頂き、色々とご教授頂きました。

しかしながら、この現象を止める、地域にあった特効薬的な対策は見出すことは出来ませんが、引き続き会員の皆様のさらなるお知恵とお力添えを賜り、令和時代にふさわしい老人クラブになりますよう、今後も微力ではありますが、頑張つて参りたいと存じますので、会員の皆様方の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様のご健康とご多幸、そして倍旧のご理解とご協力を心からお願い申し上げます、一言ご挨拶と致します。

平成31年度(令和元年度)

高島市老人クラブ連合会

【役員・評議員名簿】

- 会 長 鈴木 庄十朗 (安曇川支部長)
- 副 会 長 前 川 勉 (今津支部長)
- 女性代表 高城 三千穂 (安曇川副支部長兼女性代表)
- 理 事 松 本 文 男 (今津副支部長)
- 橋 本 恵 美 子 (今津副支部長兼女性代表)
- 松 村 良 雄 (朽木支部長)
- 西 川 明 夫 (朽木副支部長)
- 藤 井 川 枝 (朽木副支部長兼女性代表)
- 横 井 藤 夫 (安曇川副支部長)
- 北 坂 修 (高島支部長)
- 山 本 紘 一 (高島副支部長)
- 金 田 百 合 子 (高島副支部長兼女性代表)
- 青 谷 重 興 (マキノ支部代表)
- 評 議 員 赤 崎 太 一 郎 (マキノ創造推進員)
- 前 川 弥 嗣 (今津創造推進員)
- 澤 田 龍 治 (朽木創造推進員)
- 添 田 暁 子 (安曇川創造推進員)
- 万 本 春 彦 (高島創造推進員)
- 事 務 局 吉 原 康 和 (高島市創造推進員)



### 市内の高齢者の皆さま!

「老人クラブ」へのご入会を、心よりお待ちしております!お気軽にお声かけ下さい!  
 老人クラブへの入会は、60歳以上の方なら何時でもどなたでもご入会頂けます。  
 身近な場所で「新しい出会い」を求めてみようではありませんか!

○地域の同世代の皆さんと、地域に役立つことをしてみませんか!  
 ○老人クラブは、高齢者が自ら活力を持って、活躍できる地域の集団です。  
 ○仲間と一緒に活動し、毎日を生き活きと、心身ともに健康で暮らして行くようではありませんか!  
 ○老人クラブでは、「健康づくり」「友愛・奉仕」「ふれあい・交流」等、その他さまざまな活動を実施しています。

#### 各事務局連絡先

- マキノ支部 ☎(27)1132 FAX(27)1129
- 今津支部 ☎(22)5200 FAX(22)9056
- 安曇川支部 ☎(32)1944 FAX(32)1944
- 高島支部 ☎(36)8185 FAX(36)8186
- 朽木支部 ☎(38)2630 FAX(38)2951

### 主な年間行事等

- 高島市老人クラブ連合会 理事会 5月
  - 高島市老人クラブ連合会 総会・研修会 6月
  - 高島市老人クラブ連合会 グラウンドゴルフ大会 9月
  - 第1ブロック グラウンドゴルフ大会 10月
  - 滋賀県老人クラブ大会 12月
  - 女性リーダー研修会 11月
  - 高島市長との懇談会 1月
  - 高齢者相互支援活動研修会 2月
- 場所・長寿社会福祉センター  
 場所・滋賀県文化産業交流会館  
 大津市、高島市で輪番に担当

### 表彰・研修

●去る令和元年12月6日(金) 県立文化産業交流会館で開催された県老人クラブ連合会主催の第58回滋賀県老人クラブ大会で会長表彰を受賞された方は、次のとおりです。

- 滋賀県老人クラブ連合会 会長表彰
- 老人クラブ育成成功労者

マキノ支部 田野 佐多雄さん



滋賀県老人クラブ大会

●去る令和元年10月4日(金) 近年の著しい会員減少により、その対策を模索するため、京都府長岡京市「やすらぎクラブ長岡京」(老人クラブ連合会)に赴き、視察研修を実施しました。

### マキノ支部

#### 救世主と成り得るか『個人会員制度』

マキノ支部が発足して、五十有余年、この間歴代会長さんをはじめ会員の皆さんのたゆまない努力によって、町内の23集落に老人クラブを組織され最盛期には1000人を超える集合体で、大勢が集う場づくり、会員相互の絆づくり、元気の泉づくりに切磋琢磨。

ゲートボール・グラウンドゴルフ・スポーツ大会・各種の旅行・こども園への支援等、自身の健康保持と生きがいづくりを実現。

これら支部が行う行事『生活を豊かにする楽しい活動』や『地域を豊かにする社会活動』を待ちかねて大勢の会員が楽しみに参加されてきました。

ところが近年は、当マキノ支部を脱退。集落単位の老人クラブまでも解散。

これらの流れに歯止めをかける事が出来ず、現在では僅か海津2区、牧野、蛭口の3集落となり、会員数は、合わせて150人にまで減少。いよいよマキノ支部の維持存続が困難な状況にあります。

一方、少子高齢化の深刻な状況下だからこそ当事者である老人自らが自らの健康寿命を延ばし、その老人パワーを以って超高齢化社会を有意義に生き抜く環境をつくり、住み慣れた地域で心豊かに繋がり合い、不測の災害



にも安心な『活力ある老人クラブ組織』の再生こそが喫緊の課題と思われるところです。そこで、現状を打開するために新たな個人会員制度（特認会員）を導入し、会員の増強を図る事によって老人クラブの活性化に繋げようとするものです。

この『特認会員』は、自分の地域の老人クラブは連合会に加入して無いが、個人的には、マキノ支部や高島市連合会の主宰する行事に参加したい。と言われる方を対象に特別に認めて入会を頂き、新規会員の増大を図る事を目指します。

ご賛同を頂ける方のご一報をお待ち致しております。



「らく楽」スポーツ大会

**今津支部**

**今津支部の現況**

今津支部では、前支部長が退任し、元号が令和に改まった5月に新支部長が就任されました。高島市老人クラブ連合会に加入する会員が年々減少していく中で、事業活動を推進していくことは大変だと感じます。

元年度における各事業（グラウンドゴルフ大会、第二成人式、音楽教室、友愛訪問活動など）は、新支部長のもとで、各単位クラブのクラブ長さんをはじめ会員皆様のご協力をいただき順調に実施することが出来ました。事業のうち、今年度は「友愛訪問」については、訪問対象を80歳以上の単身会員世帯から80歳以上のみの2人以上の世帯に拡大して活動を実施しました。訪問する世帯が増えることは、より多くの会員と出会え、また普段会えない人とも出会えるので、日常生活状況を把握でき、情報交換の場が増えるものと考えます。

今後、会員が減少していく中、より多くの会員相互の親睦や交流の場を創っていきたいと思えます。



スポーツ大会での交流

**安曇川支部**

**「生かされて、老いを楽しむ」**

正月の誕生で古希を迎えた。今日現在身体の動きに不自由なく快適に過ごしている。食後新聞を見ながら一服のお茶、今までにない至福の時間を持てたことに感謝している。

老人クラブ（当会）に籍を置き小さな地域社会と関わりながら終活に入るまでゆつくりと老いを楽しむことにしている。どこかで誰かと自分が繋がっていることが素晴らしい、薄れていかない様願っている。

晴耕雨読、余生を自分流に過ごしたいとシルバー人材センターのお手伝いを。今日迄物作り（殆ど織維）に従事。多種多様の職歴の仲間と楽しく仕事をしている。



青柳延命会：女性部によるお弁当作り

休耕田に果樹や野菜作りを。又、文化芸能もかじりながらの暮らし、不思議な事に退役後沢山の方々と知り合いに、まして地元の方々にはなおさら親切にして頂き感謝している。遠い昔は、江州高島郡東万木村、今は、青柳・延命会。憩いの家はおおよそ50年程前に創設されたと思つ。



青柳延命会「琵琶湖のトムさん」の腹話術



### 朽木支部

「老人クラブに入りたいたい！」  
……と思わせたい

「老人クラブに入ってよかった」「会員になってよかった」「次の事業を楽しみにしている」「役員ならいつでも引き受けさせてもらいます」そんな老人クラブにはどうしたらよいのやう。

役員の有志が集まってもらって意見交換をしてもらったところ、まずは一度会員が教え、会員が教わるようなことをやってみようということになり、支部長の発案で、ミニゲタ作りとしめ縄づくりを実施してみました。

どちらも参加したのは数人でしたが、「よい体験ができた」「おもしろかった」「しめ縄はこれから自分で作ってみようと思う」など、老人クラブの事業を考えるうえで、たいへん参考になる意見が出ていました。



なつかしい遊びを取り入れてみようというところで、駒まわし競技や紙ヒコーキ競争などを行って大変盛り上がったことがありました。こうしたことから、会員間の交流ができる事業やこれらの体験、経験を生かして、世代間の交流ができる事業を実施していけたらと考えています。

特に世代間の交流については、老人クラブ内での世代間交流と併せて、小・中学生や若者との交流も取り入れることにより、最も大切な地域とのつながりをもっと強く、深く、深くなっていくことを期待しています。

一方で、現状では単老中心の運営には無理な部分もあり、単老同志、支部同志の協力についても話し合えたらと考えています。

### 高島支部

#### 女性部料理教室を開催!!

高島支部では、女性部長 金田百合子さん、指導者 兼田初恵さんのもと9月25日、午前10時よりガリバーホール調理室をお借りして、17名参加のもと「アスパラと長芋の肉巻き」ほか4レシピにもとづいて、和気あいあいの中、それぞれに分担手分けして料理を作り上げ、のち参加者全員で試食、美味しくいただき残った分は各自持参したタッパーにいれ持ち帰りました。

高島支部は、4単位クラブと減少しましたが、女性部としては今後できるだけ多くの女性部員で、料理教室をはじめ研修会、親睦会等を通じ連携を強め、女性部がより発展できればと願っています。



女性部による料理教室

### 編集後記

社会情勢の変化や著しい少子高齢化の進展で、人口構造・生活スタイル等が大きく変化し、高齢者は自身で、若者に頼らない老後の生き方、過ごし方を考えなければならぬ意識の変革が必要になってきました。

こうした社会情勢の中、元気に生き抜くには、地域でのお互いの助け合いや支え合い、そして仲間づくりが大変重要な事です。

「平成」という時代に幕を閉じ、新しい時代「令和」がスタートしました。しかし、少子高齢化は止まることはありません。地方での生活には、仲間同士の支え合いが必要で、是非とも「老人クラブ」にご入会頂き、残された人生、共に楽しく暮らして行こうではありませんか！そして、新しい時代を共に生きようではありませんか！

市内高齢者の皆さまの、ご入会を心よりお待ちしております。

事務局